



Amakusa City



令和7年度  
市民ふれあい座談会 (栖本地区)

令和7年10月14日  
栖本福祉会館



Amakusa City

**1. 令和7年8月豪雨災害について**

**2. 水道料金の改定について**

**3. つながるチカラでまちづくり**

**～天草版地方創生への挑戦～**



Amakusa City

# 1. 令和7年8月豪雨災害について

# 令和7年8月豪雨 天草市被害状況



Amakusa City



本渡・国道324号

# 令和7年8月豪雨 天草市被害状況



Amakusa City



有明・赤崎山浦地区

# 令和7年8月豪雨 天草市被害状況



Amakusa City



栖本・河内川と市道の兼用護岸

# 令和7年8月豪雨 天草市被害状況



Amakusa City



倉岳・棚底木場平地区（倉岳山頂アクセス道）

# 令和7年8月豪雨 天草市の人的被害・住家被害の状況



Amakusa City

地区	人的被害	住家被害				
		全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	一部損壊
本渡	0	0	75	38	160	16
牛深	0	0	0	0	0	0
有明	0	1	32	6	62	1
御所浦	0	0	0	0	0	0
倉岳	0	0	0	1	3	1
栖本	0	0	18	6	44	3
新和	0	0	0	0	0	0
五和	0	0	0	0	1	1
天草	0	0	0	0	0	0
河浦	0	0	0	0	0	0
合計	0	1	125	51	270	22

※住家被害の数は住家被害認定調査による罹災証明書発行件数の集計

令和7年9月25日現在

# 令和7年8月豪雨 天草市被害状況



Amakusa City

項目		被害額	状況
建設関係	道路	27.9億円	87件
	河川	54.6億円	198件
経済関係	農作物等	0.5億円	6.5ha、機械類85件
	農業施設	2.5億円	共同利用施設2ヶ所、非共同利用施設（ハウス等）26ヶ所
	農地	7.6億円	田182ヶ所、畑44ヶ所、樹園地254ヶ所
	農業用施設	21.0億円	道路54ヶ所、水路104ヶ所、ため池15ヶ所、頭首工14ヶ所
	林業	24.6億円	林道施設25ヶ所、山地崩壊91ヶ所
	商工関係	9.3億円	本渡商工会管轄137件、天草市商工会管轄63件
合計		148億円	

項目		状況
観光文化関係	文化財被害	7件（国指定2件・県指定2件・市指定3件）
	宿泊キャンセル	1,788泊分（8月11日～8月14日）
災害ボランティアセンター		8月14日～9月10日（189件、ボランティア1,587人）
災害ごみ仮置き場		8月13日～9月10日（搬入台数6,457台）

令和7年9月25日現在



# 熊本天草幹線道路 路線図



Amakusa City

- ① 国道266号 松島町合津（2号橋と3号橋の間） 法面崩壊  
8/11 7:00 ~ 24:00 約17時間 全面通行止  
迂回路なし 天草上島、下島が孤立状態となる。



# 熊本天草幹線道路 路線図



Amakusa City

② 国道57号 宇城市三角町大田尾付近 法面崩壊（3箇所）

8/11 9:50 ~ 8/12 18:30 約33時間 全面通行止

国道266号 宇城市三角町波多～中村 冠水（複数箇所）

8/11 9:00 ~ 12:20 全面通行止

熊本⇄天草の国道2本が一時的に全面通行止。国道266号通行止め解除後も渋滞発生。



# 熊本天草幹線道路 路線図



Amakusa City

- ③ 国道324号 上天草市松島町合津～今泉 冠水  
8/11 16:30 ~ 8/12 17:00 約24時間 全面通行止  
迂回路あり (松島有料道路無料開放) 孤立を回避する代替効果が発揮された







Amakusa City



人的被害 0 → 防災力の高まりのおかげ



自助・共助9割、公助1割  
行政が入れなかった地域の共助

# 自主防災組織の結成状況



Amakusa City

組織数 231

本渡	牛深	有明	御所浦	倉岳	栖本	新和	五和	天草	河浦
74	37	12	4	16	12	30	5	10	31

人口に対する組織率  
89.39%

## 主な活動内容

- 訓練の実施
- 地区防災計画の作成
- 指定緊急避難場所の運営委託 17団体/69カ所（1次避難所）
- 防災士の資格取得及び活用



Amakusa City



命を守る 暮らしを守る



安全安心で持続可能なまちへ





Amakusa City

## 2.水道料金の改定について

# 天草市上水道事業は 地方公営企業法の適用を受けている 独立採算制の事業体

独立採算制とは・・・

水道に係る経費は料金等の収入を  
もって充てることが原則



上水道事業の経営は、市民の皆様の  
料金で支えられています。

# 料金改定の理由



Amakusa City

## 1.人口減少や節水機器の普及

➡ 水需要の低下による料金収入の減少

## 2.労務費や物価の上昇

➡ 管路や設備などの維持管理費の増加

## 3.施設の老朽化

➡ 施設の更新や統合による経費の増加



Amakusa City

# 上水道事業では全国的に 施設の老朽化や耐震化対策が急務



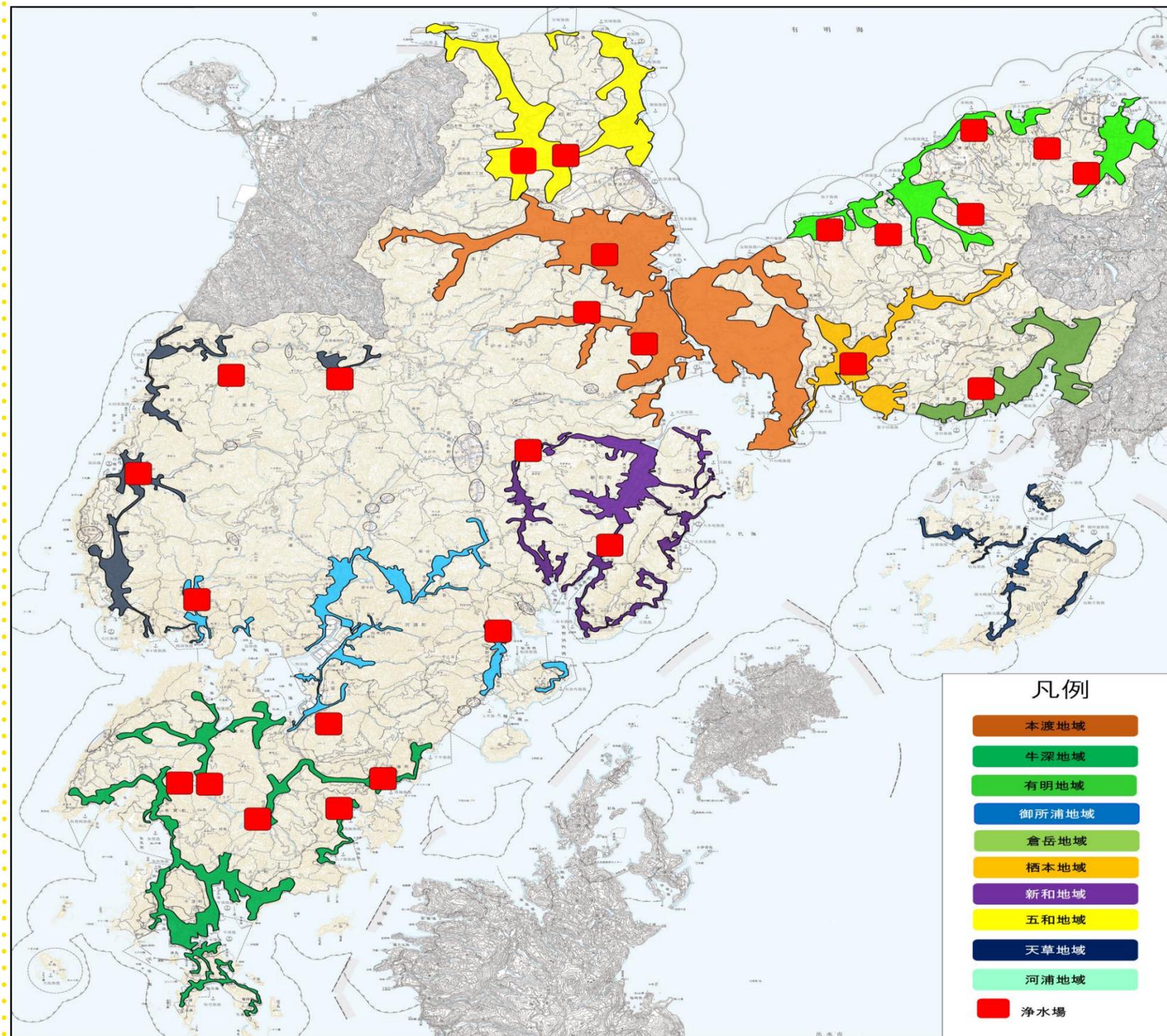
京都市 大規模漏水

本市においても早急な改修工事が必要

# 水道施設の現状



Amakusa City



水源：47ヶ所

浄水場：26ヶ所

配水施設：177ヶ所

送水施設：66ヶ所

計316ヶ所

水道管（導水管・送水管・配水管）の延長

約1,223 km

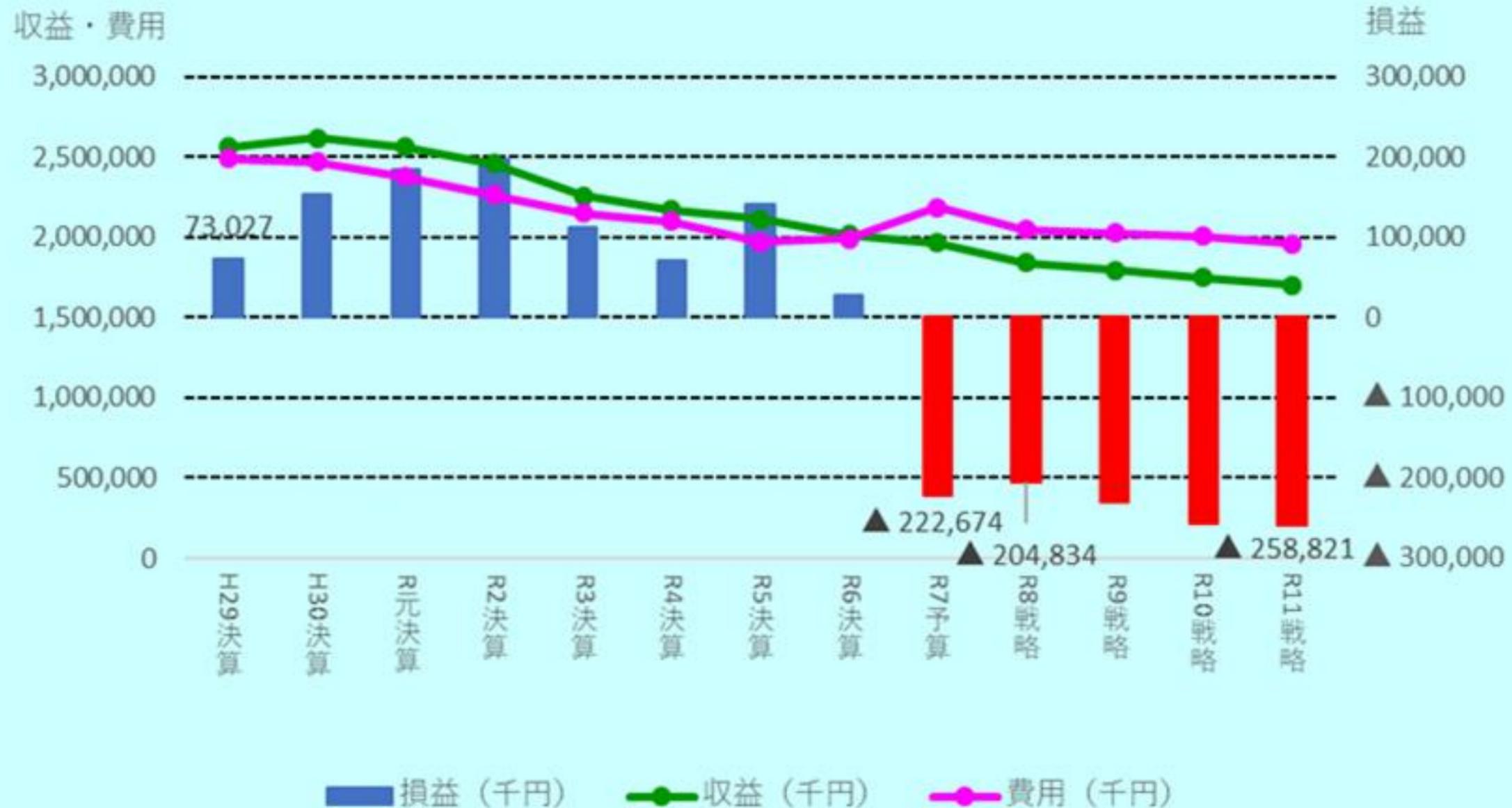
※天草市役所から直線距離にすると宮城県石巻市までとほぼ同じ距離

# 収益的収支の推移（水道）



Amakusa City

収益的収支推移（水道）



【設備の更新・  
改築工事など】

(令和7~11年度)  
36億2,700万円  
かかる見込み

# 他市との比較（供給単価順） 上水道

	給水区域面積 (R4)	現在給水人口 (R4)	管路延長	水源数	浄水場	配水池	供給単価 (円/m <sup>3</sup> )
上天草市	126.12km <sup>2</sup>	23,080人	364,613m	9ヶ所	7ヶ所	28ヶ所	309.08
天草市	182.71km <sup>2</sup>	69,284人	1,222,673m	47ヶ所	30ヶ所※1	140ヶ所※2	241.14
宇城市（三角）	76.92km <sup>2</sup>	42,730人	77,253m	3ヶ所	10ヶ所	27ヶ所	223.20
宇城市 （松橋・小川）			322,680m	14ヶ所			
宇土市	24.85km <sup>2</sup>	31,016人	261,313m	19ヶ所	13ヶ所	12ヶ所	180.60
熊本市	324.16km <sup>2</sup>	707,302人	3,570,529m	40ヶ所	41ヶ所	54ヶ所	163.24
荒尾市	35.95km <sup>2</sup>	47,989人	450,342m	6ヶ所	6ヶ所	9ヶ所	150.70
水俣市	26.31km <sup>2</sup>	20,403人	164,940m	11ヶ所	1ヶ所	34ヶ所	142.04
菊池市	71.96km <sup>2</sup>	34,310人	331,145m	24ヶ所	3ヶ所	33ヶ所	139.28
阿蘇市	191.72km <sup>2</sup>	20,410人	340,594m	24ヶ所	0ヶ所	39ヶ所	137.00
山鹿市	37.00km <sup>2</sup>	29,951人	294,989m	17ヶ所	15ヶ所	17ヶ所	130.34
八代市	50.79km <sup>2</sup>	40,415人	385,399m	5ヶ所	0ヶ所	4ヶ所	125.90
人吉市	39.07km <sup>2</sup>	29,524人	288,963m	4ヶ所	0ヶ所	8ヶ所	125.87
合志市	38.73km <sup>2</sup>	63,858人	353,665m	27ヶ所	0ヶ所	15ヶ所	125.34
玉名市	84.33km <sup>2</sup>	48,541人	529,292m	14ヶ所	10ヶ所	10ヶ所	122.03

※1 令和7年9月1日時点で運用している浄水場は、26ヶ所。

※2 配水池を含む配水施設は、177ヶ所。

出典：熊本県の水道（令和5年3月31日現在）

## 改定率

水道料金 **26.11%**

特例期間を設け、段階的な料金改定を行う

- 改定率の 1/2
- 令和8年4月請求分から  
令和9年3月請求分まで

## 特例期間 改定率

水道料金 **13.055%**

# 料金例（月額）



Amakusa City

## 1世帯3人家族の場合の料金例

- ・口径13mmで20m<sup>3</sup>使用の例
- ・料金は税込み表示

R8年4月～R9年3月請求分

R9年4月請求分～

### 現行料金

- ・水道料金  
4,708円

### 特例（激変緩和措置）

- ・水道料金  
5,339円

### 新料金

- ・水道料金  
5,962円

現行料金から  
631円 負担増

現行料金から  
1,254円 負担増



Amakusa City

# 施設更新事業費負担の軽減策について



- 上水道施設更新費用に係る  
交付金の活用
- 国への財政支援制度の拡充等の要望



Amakusa City

- ◆将来にわたって安心・安全な水を安定的に提供
- ◆公衆衛生の向上と公共用水域の水質保全
- ◆豊かな自然環境の維持

皆様のご理解とご協力をお願いします



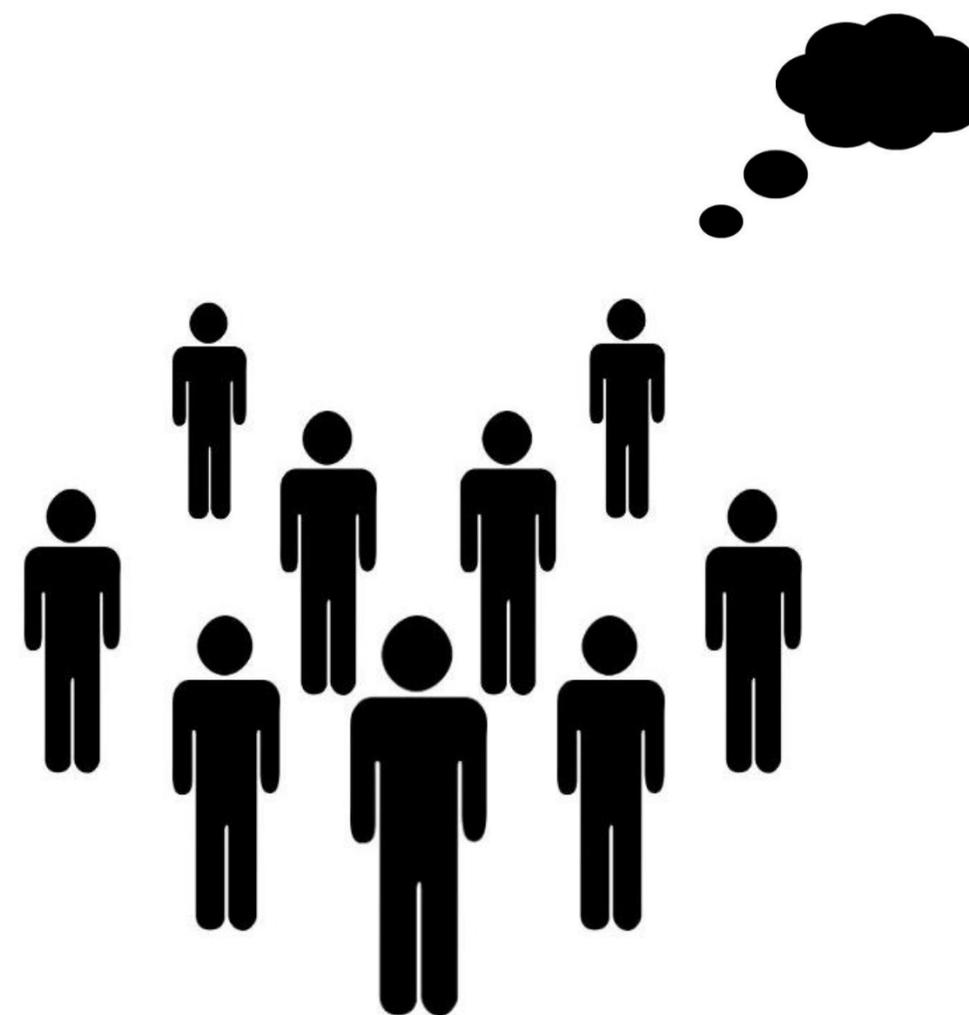
Amakusa City

# 3. つながるチカラでまちづくり ～天草版地方創生への挑戦～



Amakusa City

# 天草市の 現状と課題

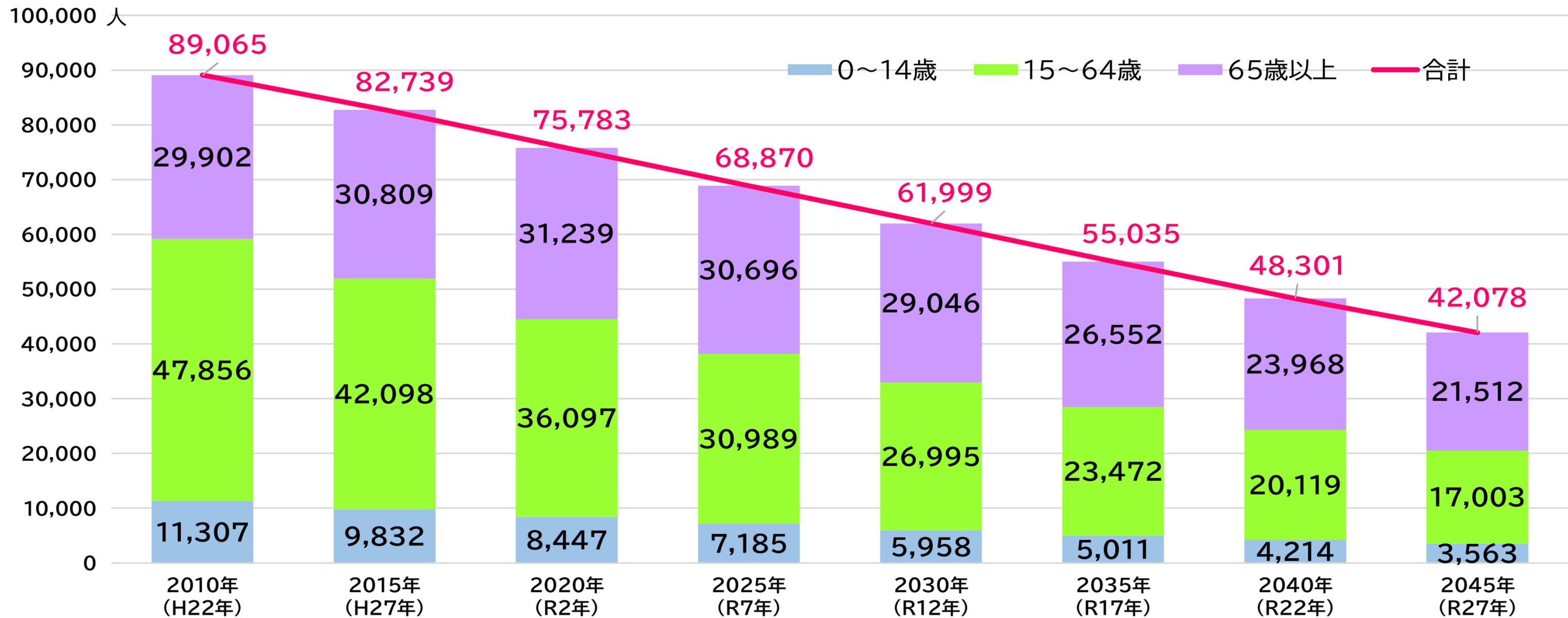




Amakusa City

# 人口減少と少子高齢化

【天草市】 一年齢3区分別人口の推移と将来予測/2020年(令和2年)国勢調査結果



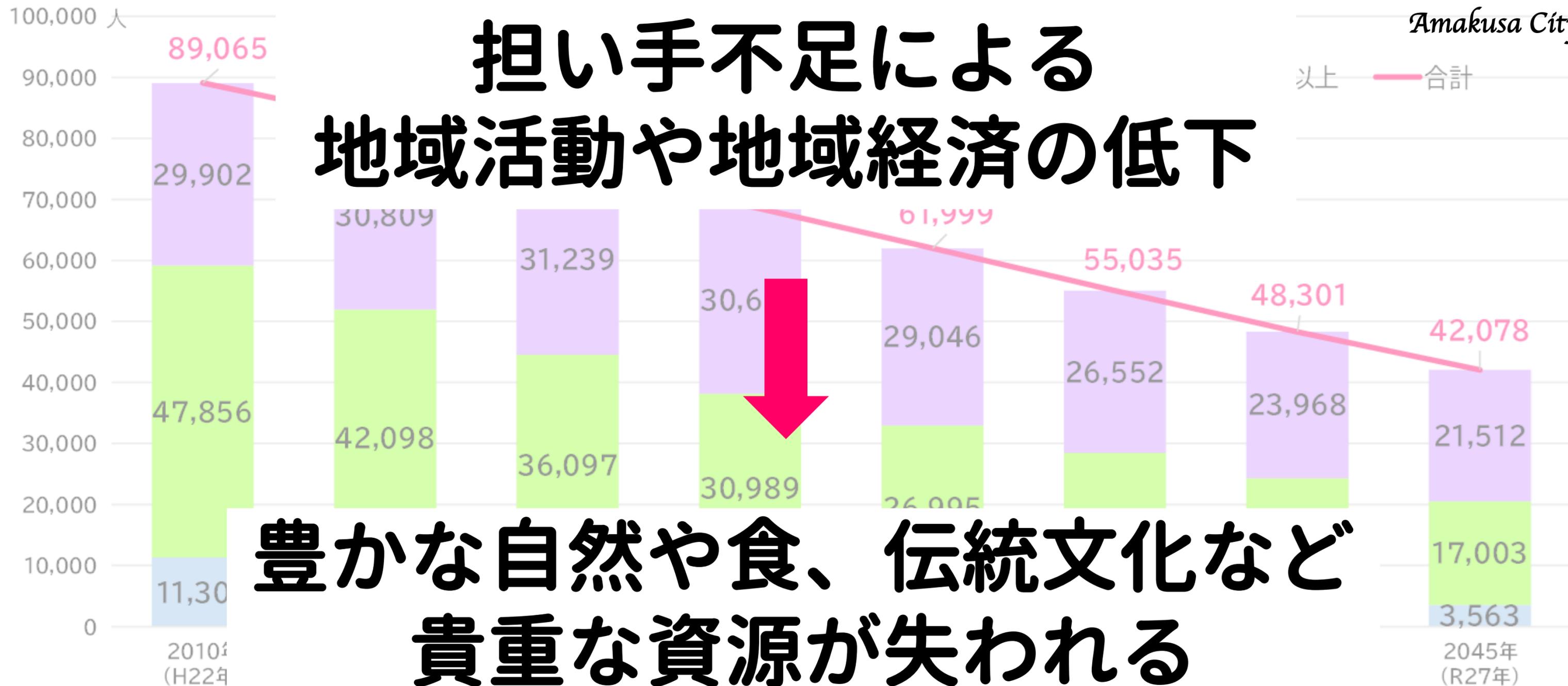
(資料：2025年からの推計は、H27～R2国勢調査の5年間の推移を基に、コーホート法変化率により本市で独自に算出した数値。)



Amakusa City

头上 合計

# 担い手不足による 地域活動や地域経済の低下



## 豊かな自然や食、伝統文化など 貴重な資源が失われる

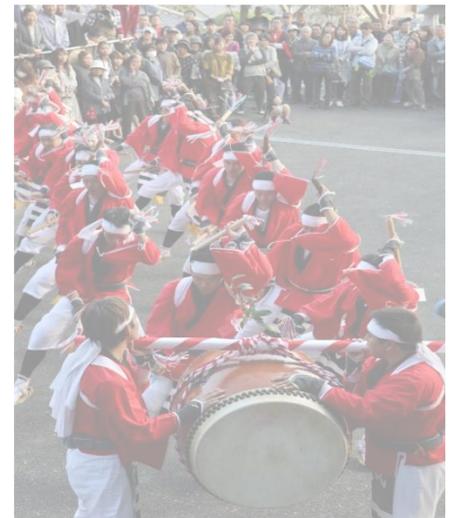
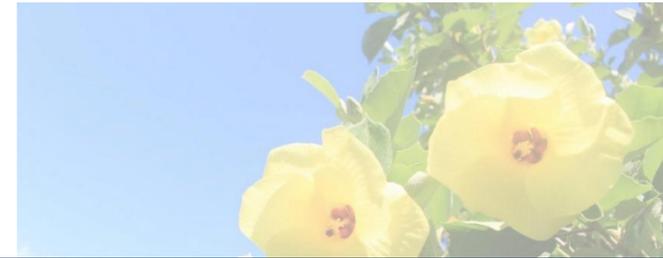


Amakusa City

各地域の活力を取り戻す

人材づくり

地域を守り続ける



# 各地域で 天草版地方創生に 取り組みます！

私たちが地域に自信と誇りを持ち、  
子どもたちが帰ってきたくなるまちに。



Amakusa City





Amakusa City

# 令和7年6月 天草版地方創生推進本部を設置

地域をどう守っていくのか、活性化していくのか  
市役所全体で協議、共有し、実現に向けて取り組む。

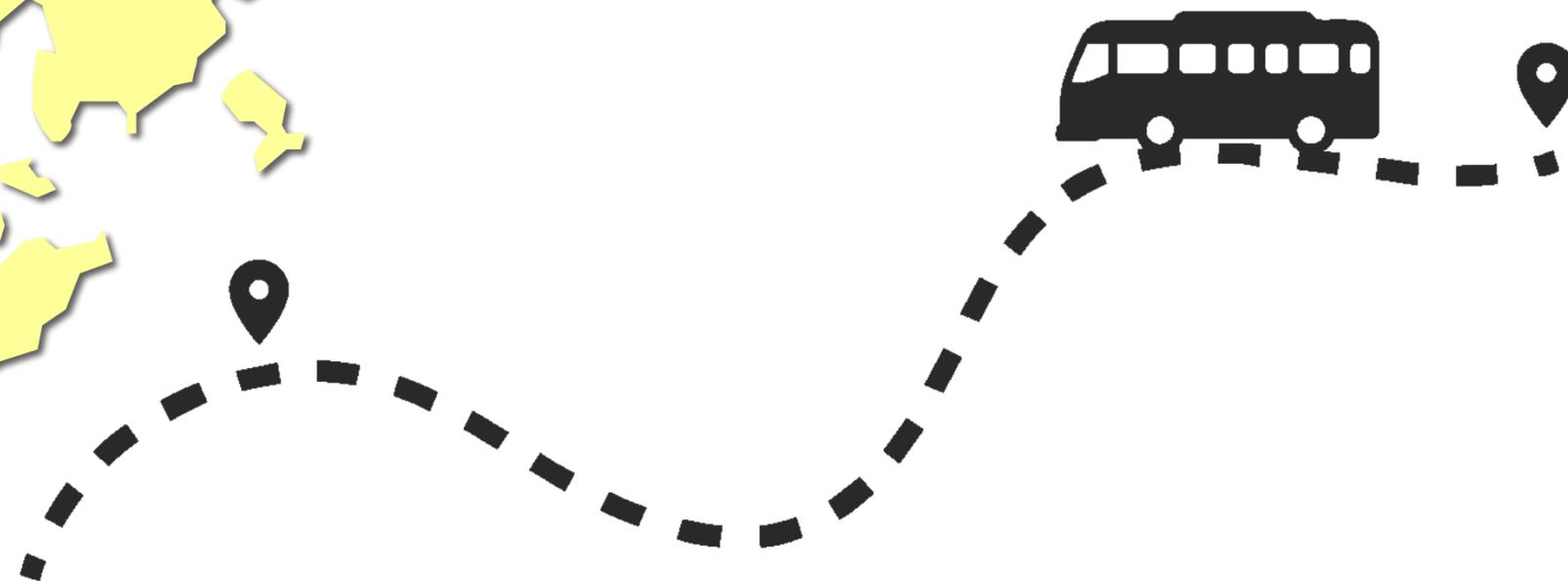
## ～今年度の取組み～

- 各支所長を主体に地域での取組みについて検討
- 各支所ソフト事業枠について検討
- 支所機能強化事業の実施



Amakusa City

# 抜本的な 公共交通の再編



# 地域公共交通の再編



Amakusa City

市民及び来訪者の移動利便性を向上し、天草版地方創生を実現するため、公共交通を再編する。

- ① 路線バスを地域間路線（幹線）に集約し、運行ダイヤを利便性の高い便数1時間に1便程度）に増便。  
→ 本渡地域と市内各地域との移動を容易にし、観光客の二次交通を改善する。

## 幹線交通



路線バス

本渡

## 広域交通



天草エアライン



快速あまくさ号

## 域内航路



定期船・海上タクシー

## コミュニティ交通

市内各地域



AIオンデマンドタクシー

市外



広域フェリー（島鉄、天長、三和）  
※各港～本渡間は路線バスで接続

## 地域公共交通の再編



Amakusa City

②各地域にA I オンデマンドタクシー(※)等のコミュニティ交通を導入し、買い物や通院など地域内の移動をより便利にする。

※自宅から目的地までドアtoドアで移動可能な乗合型のタクシー。  
運行時間内であれば、移動したい時間に乗車可能（予約制）。



栖本地域で運行中の車両（セダンタイプ・4人乗り）



新和地域で実証実験中の車両（ワゴンタイプ・10人乗り）

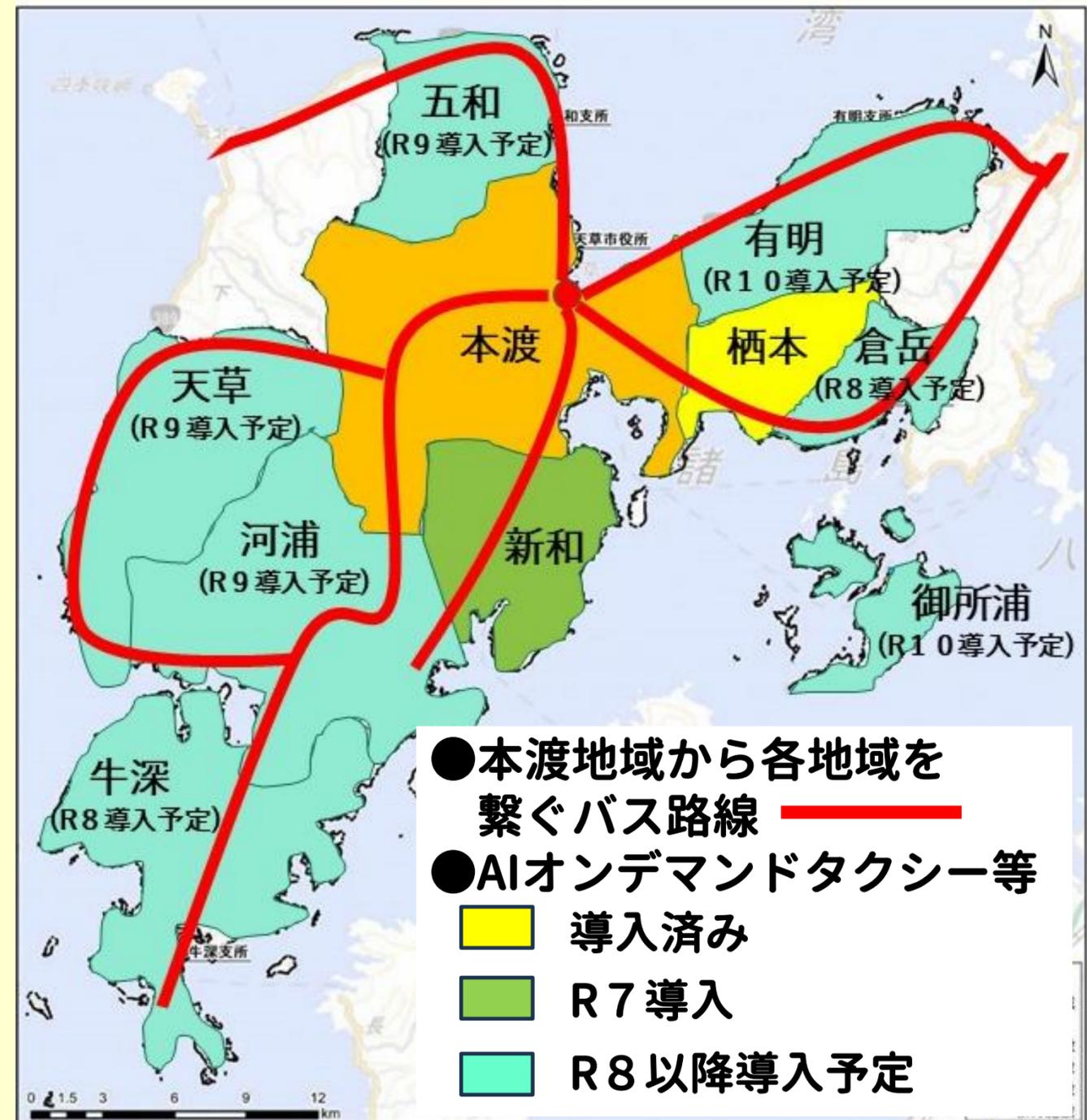
# 天草市の目指す地域公共交通の姿

## <市民の意見>

- 運行便数が少ない。
- 乗りたい時間にバスの運行がない。
- バス停が遠い。
- 車を運転できるので公共交通は使わない。
- 運賃が高い。

※令和4年市民アンケート

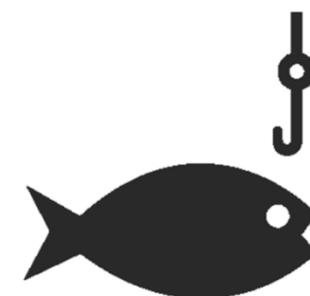
## →公共交通の充実が必要





Amakusa City

# 未来を担う人材 の育成



デジタル技術がより進化すればするほど

人はよりリアルを求め

より本物を求める

子どもたちには本物に触れ、本物を知り  
豊富な実体験による五感で感じる教育を



Amakusa City





Amakusa City

# 体験学習の島づくり（令和6年度全校へ拡大）

故郷を愛し郷土を  
誇りに思う気持ち  
そして生きる力を  
育む

本市特有の歴史・  
自然に関する学び  
豊かなフィールド  
ワークを活かした  
体験学習

地域学校協働活動推進員を小中学校へ配置

子どもたちに、五感をフルに使った  
リアルな体験（自然体験）を





全17小学校4年生全員  
イルカの生態と人との共生  
に関する学び  
イルカウォッチング体験



全17小学校6年生全員  
天草1億年の大地の歴史を  
恐竜の島博物館で学び  
化石採集クルージング体験



全13中学校1年生全員  
世界遺産学10時間の学び  
崎津集落

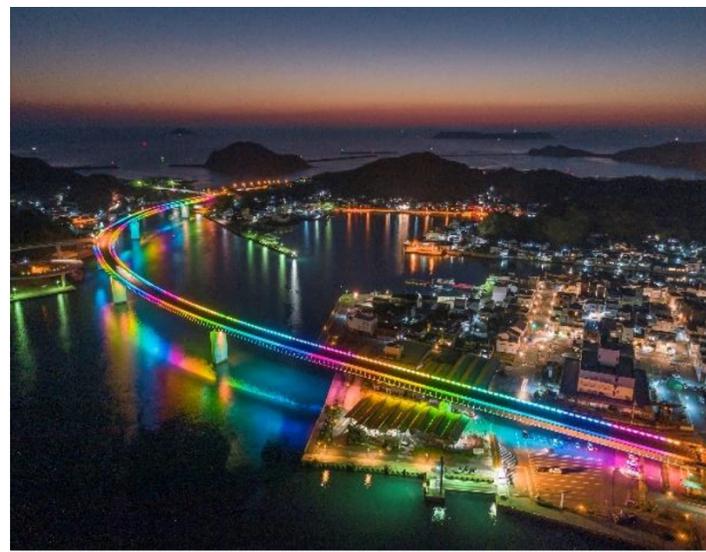


Amakusa City

子どもたちの「生きる力」を育む＝郷土愛の醸成＝天草の担い手育成



Amakusa City



天草の宝を  
未来へ  
守りつなぐ

天草の宝の  
価値に気付き、  
理解し、伝え、  
守る

インタープリテーション  
ガイドブックを制作





## インタープリテーションとは

国立公園や世界遺産、観光地などにおいて、観光事業者や地域住民が、来訪者との「交流」を通じて、その場所ならではのストーリーを共有するためのコミュニケーションの手法のこと。

具体的には・・・

➡来訪者と交流する際、観光地の名称や場所に  
加え、**歴史や背景を伝える。**

私たち一人ひとりが地域への誇りと愛着を持ち、人・知恵・想いをつなぎ、  
大きな力でまちづくりを進めていきましょう。

